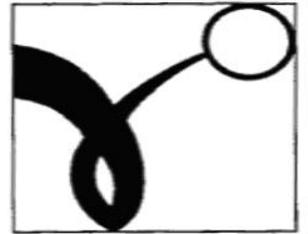


2017 No.85

# 卓球 ニューズ 市町村

ホームページはこちら (tttm.jp/)

平成29年1月15日



発行者 東京都市町村卓球  
連盟 総務部

あけましておめでとございませう。皆様にはお元気で新しい年を御迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年夏のリオデジャネイロオリンピックでは、日本選手の活躍で日本中が大いに盛り上がりました。卓球競技においても女子が団体で銅メダル、男子が団体銀メダル、個人で水谷選手が銅メダルと素晴らしい成績を上げ、我々卓球人を大いに喜ばせてくれました。東京都卓球連盟の大会の挨拶の中でミズノの役員さんが「大会後にアンケートを取ったところ人気の一番は卓球だった」と嬉しい話を聞かせてくれました。街の卓球場はリオ五輪以来、素人の方や親子連れのお客さんで混みあつて練習も並んで待たされるようになったという声をあちこちで耳にしました。卓球の普及、発展にかかわるものにとつて嬉しい限りです。この卓球プ



## 新年のご挨拶

東京都市町村卓球連盟

会長 吉田 武

ームをしっかりとりえて事業に反映させて成果を上げてゆかねばと思っています。

東京都町村卓球連盟は今年創立六十周年を迎えます。多くの先輩が築きあげ育ててきた多摩地区の卓球の中心である本連盟を次の十年、二十年に向けて次世代にしっかりとないでゆくために、まずは五十周年からの十年間の記録残すための記念誌を作成いたします。そしてこれを機にさらに団結を深めるべく簡素な式典を考えています。また合併して十年になる東京都卓球連盟との連携をさらに密にして、その活動の充実発展に力を合わせてゆきたいと思えます。

今年も各支部、会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



### 第四十九回 東京都市町村 総合体育大会 卓球競技結果

平成二十八年七月十七日  
於 日野市市民の森

ふれあいホール

男子

- 一位 調布市
- 二位 西東京
- 三位 八王子市
- 三位 日野市

女子

- 一位 八王子市
- 二位 小金井市
- 三位 調布市
- 三位 日野市

### 東京都市町村卓球連盟

#### 登録状況

平成二十八年十二月現在

男子

百一十一チーム  
九百六十一名

女子

百二十五チーム  
八百三十五名

## 三十三年を省みて

連盟顧問 長谷川 治雄



時の流れは速くついこの間勇退したばかりと思っていたが、もはや半年を過ぎ、年のせいも能力のなさから近年はやたらと時がたつていく。確か私が都下卓連にお世話にな

り始めたのは昭和五十八年の十月二十五日に開催した日中交歓卓球大会多摩市大会に審判員十三名のご協力をいただいたお礼に十一月開催の理事會に出席させていただいたのが最初でありました。その折に提案した組織の改革の件で、試行錯誤を重ねてまいりましたが、ただクラブチームの集まりであった組織から各市町卓球連盟の統合されたものになったのみであります。それも昭和五十八年十一月から昭和六十二年十一月まで四年を経て漸く実現できたのであります。

その後東京卓球連盟でも森武会長

に代わってから同じ組織にするように運動を始め、十四年を経て漸く東京都卓球連盟が二十三区・二十六市三町一村の各地域の卓球連盟の統合された組織になったのです。それが平成二十年でありました。その間規約改正員會の中で小・中高・大学・各地域の加盟人員がすべて東京都卓球連盟・日本卓球協会につながるような組織にするべきとのことを提案してききましたが、最終的にはそのようなものにするが先ず実現できることからすべきたとの意見が多く出され否決されて現在に至っている訳であります。

こうした改革は一朝一夕にして実現できるものではないとは知っているが、その職責にあった自分の無能さを証明したようなものであり汗顔の至りであります。この目的達成のために後継の皆様は努力していただくことを夢に託します。

### 審判部より

審判部部长 山本道雄

審判部は佐藤副理事長のもと部長副部长以下兼任一名含む六名で構成されています。主な活動は、卓球ルールの出張審判講習會と、資格をお持ちの方を対象に審判実務養成講習會の実施です。どちらも無料ですのでぜひご利用ください。また、各種大

會の審判長派遣も審判部の担当です。

技術だけでなくルールにも精通して！

長寿社会になつてきている現在、誰もが元気で長生きしたいと思つています。行政でも生涯スポーツとして多くの競技種目を勧めており、現在子供から高齢者までいろいろなスポーツが行われています。卓球は三、四歳から九十歳代までの人が競技スポーツとしてや、健康のために練習に励んでいます。(今年の三月の東京選手権大会では九十歳代の部ができました。)

試合に出場して強くなりたいと思つている人は、多くの技術を身に付けるために練習を重ねています。また、試合には出なくてもラリーを楽しむながら練習に汗を流している人もいます。

多くの大会を見ていると、審判は選手相互による審判や敗者審判です。公認審判員がついていない試合では選手が卓球技術はしつかりしているのに、卓球ルールをもっとわかつていれば試合で損をしないのと思つていられることがあります。ルールを良く知っていれば試合は勝つたのと思う試合も何度も見えています。ルールに強くなりましょう。

無料で出張審判講習會を実施中！

東京都市町村卓球連盟・審判部では、以前より各市町村卓球連盟から希望があれば、無料で審判講習會(ルール、審判法等)を開催しています(会場は確保してください)。

また、大会運営にもルールは欠かせないものです。各市町村の卓球連盟の役員の方たちには、ぜひ公認審判員の資格を取得してもらいたいと思つていきますので、勉強會等、要望があれば出張して行うつもりです。

審判員養成研修を実施中！

東京都卓球連盟でも大会で審判員として活躍している方々の高齢化が顕著です。少しでも審判員に興味のある方は、ぜひ資格を取得して東京選手権大会や全日本選手権大会等で審判をやってみませんか！

また、公認審判員、上級公認審判員資格を取得しているが、大会での審判経験が無かったり、少なくとも自信がない人のために、審判のやり方等、審判実技の研修をリーグ戦等の大会で行っています。研修を通して自信をもってもらい、いろいろな大会で審判をやってみませんか。

## ラジボールとはじめ

伊野 弘子

巷ではゲートボールが大流行して  
いました。少しの空き地を見つけて  
は高齢者が集まり、楽しそうに遊び  
歓声をあげながらボールを打ち興じ  
ている姿があちらこちらに見られま  
した。老齢になってもあんなに楽し  
める世界があるのかと羨ましく眺め  
ていたものです。

そんな頃日本卓球協会で、高齢者  
や肢体不自由者も楽しめる生涯スポ  
ーツとしての卓球を模索し始めた  
と聞きました。激しいラリーの攻防戦  
ではなく、ゆったりラリーを続けそ  
の快音やリズムを体感しながら楽し  
んでゲームができるスポーツにした  
い。そんな理想を掲げ具体策が検討  
され始めたそうです。ラジボール  
の始まりです。

まずボールです。当時の硬球は三  
十八ミリでした。よく見えるように  
するために四十四ミリまで大きくし  
ました。とはいっても重くなつては  
困ります。ニツタク俵に試作を依頼  
しテスト重ねた結果、現行に近いボ  
ールが完成したとその頃の「苦労を  
道先進氏が話して下さいました。

ラバーについては、裏ソフトでツ  
ツツキをすると切れ過ぎて相手コー  
トにバウンドしたボールが自領コー

トに戻ってくるので、表ソフトに限  
定されたそうです。

サービスは「これから楽しいゲー  
ムを始めましょう。よろしくね。と  
いう意味合いを込めて優雅に入れま  
しょう」これが荻村伊智朗さんのご  
指導でした。具体的にはコートエン  
ドの後方五十センチ下がってゆるや  
かにサービスすることでしたが今  
は？

試合錯誤を重ねながらも第一回全  
国ラジボール大会が富山体育館で  
開催されました。試合開始に先立ち  
荻村伊智朗VS江口富士枝の模範プ  
レーがご披露されました。それはそ  
れは長いラリーの応酬でした。試合  
開始時間が過ぎ会場係がコートを少  
しずつ移動させますが、ラリーは途  
切れることなく一糸乱れぬ華麗なフ  
ォームで会場の隅までコートごと運  
ばれました。感動極まりなし。

さて、その大会に参加した私たち  
四人は、蝶のようなヘアバンド、提  
灯袖のユニフォーム、フリフリの短  
パン等々、ラジボールのファッシ  
ョンリーダーの気分でした。

齢八十歳を過ぎた私も今なおラー  
ジボールで楽しませていただいでい  
ます。発案者である日本卓球協会の  
諸先輩方に改めて感謝申し上げます。

## 永野会長を偲んで

河内 民子

永野さんは、清瀬生まれの清瀬育  
ちです。自然が大好きで子供のころ  
は、わんぱく坊主だったようです。  
卓球は中学から始め、清瀬市役所に  
勤務しながら卓球連盟の理事長にな  
り選手としても活躍していました。

卓球連盟の当初は、大会を開催する  
のに卓球台が少なくて近くの学校か  
ら台を運んで間に合わせていたよう  
です。そんな苦労も、春には柳瀬川  
沿いの花見、秋には合宿や、旅行に  
行ったりして親睦を大事にされてい  
たので理事同士のまとまりもあつた  
ようです。

永野さんは、酒と、卓球と、人をこ  
よなく愛し周りを引き込む名人でし  
た。周りの空気に合わせてよく冗談  
を言つては雰囲気をごまかせてくれ  
ていました。永野さんを見てみると  
楽しそうにしているのが、永野さん  
にできることは、私にも出来ると思  
わせる不思議な人でした。理事会の  
運営も先頭に立ち苦情も要望も全部  
受け入れてくれていました。そして、  
決まって「卓球連盟の理事さんたち  
は僕の宝物なんです。」とうれしそう  
に言っていました。

趣味も多く卓球、フォルクローレ、  
釣り、ゴルフ、鳥、パチンコ、マー

ジャン、将棋など。そして市町村卓  
球連盟の新年会にフォルクローレの  
演奏をすることになり張り切つて練  
習していたのが記憶に新しいです。

仕事の後、試合の後、同窓会、県人  
会、演奏の後には楽しいお酒があり、  
そこには必ず永野さんが居ました。

永野会長の人となりは、亡くなつ  
てから大きな存在であることに気付  
かされる事ばかりです。永野三男さ  
んの亡くなった日が六月三日三時二  
十分(みつおと)、ご家族から聞いた  
時は偶然とおもえない不思議なも  
のを感じました。最後まで主役とし  
て、決して笑えない冗談を残して去  
つて行つてしまいました。ご冥福を  
お祈りいたします。



## 連盟等紹介

### 小金井市卓球連盟

山宮信也

当連盟は個人加盟百二十名、理事二十名で構成され、毎月一回の理事会で大会、合宿、懇親会などの打合せや反省会を行い、常に市民のニーズに 대응するように検討しています。市民大会、オープン戦を含め十四の各種大会を行い楽しんで頂いています。

練習場所は、総合体育館（毎日）や各小学校の体育館（土・日）を利用し、所狭しと練習生に群がっています。夏にはジュニア育成強化トレーニング、冬にはシニアスポーツ振興事業卓球教室を開き、小中学生からシニアまで優しく且つ厳しく指導し、中高年の健康増進にも貢献しています。



### 小平市卓球連盟

高岡邦夫



本連盟の会員は在任・在勤・在学する卓球愛好者とし、本年度の会員数は二十九チーム、男子百五十六名、女子百九十二名計三百四十八名です。会員相互の親睦を図るため週一回合同練習を実施していますが、各チームそれぞれ独自練習に励み技量の向上に努めています。連盟としての年間事業は春季及び秋季市民大会、ミックス及び団体のオープン大会、ラージボール大会並びに登録チーム大会を行うと共に卓球の底辺拡大・普及・技術向上を図るため、中高年を対象とした講習会と小学生を対象とした親子教室を開催しています。

リオオリンピックの影響が後期は参加希望者が多く嬉しい悲鳴を上げています。今後も生涯スポーツとしての卓球の普及、子供の育成と振興選手の競技力向上を図っていきます。

### 清瀬市卓球連盟

石井 正博



平成二十八年七月から清瀬市卓球連盟会長に就任しました。清瀬市卓球連盟はクラブ数が十六（男子七、女子九）で会員数百六十一名（男子九十四名、女子六十七名）、ラージ会員は七十七名です。

練習はクラブごとに体育館等を時間割で取りメンバーで定期的に練習しているところ、小学校が毎週使えるので20〜30名ぐらいで各自課題を持つて練習に励んでいます。卓球は生涯スポーツとして多くの人々に支持されていますので向上心を持ち上手になりたい気持ちも大事ですが健康第一と考えております。

連盟として特に取り組んでいる事は小中学生の育成です。毎週土曜日清瀬小で十時〜十二時まで女性理事を中心にサタデースクールを開催し子供たちの育成に努めております。

### 国立市卓球連盟

上原 亘



国立市卓球連盟は昭和三十年に国立町卓球連盟として発足し、昭和四十二年の市制施行に伴い国立市卓球連盟と改称しました。現在二十名程の理事を中心に運営しております。

主な活動内容は、年一回（春・秋）の市民大会の運営、国分寺市卓球連盟と共催のジュニア教室の開催、多摩障害者スポーツセンターでの卓球教室や大会のお手伝い、国立市体育協会のイベントのお手伝いです。

連盟としての決まった定期練習はなく、選手の方々は各所属チームやサークルで腕を磨いています。

市民大会の年代別の部では昨年から「80代以上の部」を新設し、幅広い年齢やレベルの選手の方々に楽しんでいただけるような大会づくりを目指しています。

## 新規登録チーム紹介

### みなみクラブ

塩田 敦子



今年度から新規登録した「みなみクラブ」です。チーム名が小平卓連の登録名と同じ理由は簡単、ゼッケンを新たに作らなくて済むからです。登録人数は男性一人を含む総勢三名。もともと母体の会員数は二八名。チームの総会の場で市町村卓連への登録を呼び掛けたところ、中学校の親睦大会に参加してもっと試合をしたいという思いのママさんたちが集まりチームが誕生しました。先日のリーグ戦では「シングルス

やったことない！五番までやらないの？」等初めてのことでだらけでしたがもっと練習しなくてはと意欲満々。こんな初心者チームですが、よろしくお願ひします。

### 華クラブ

藤田 満夫



私達の「華クラブ」卓球サークルは活動を始めて約十年が経過しました。メンバーの人数も男女合わせて十五人に増えて活気よく週一回の練習に励んでいます。市町村大会は華クラブのメンバー数人が登録をして参加して行きました。今年度からは新たに華クラブBチームを作って参加させていただけます。

目標は卓球の向上を第一に頑張っています。体調管理！楽しく！サークルの継続！等も大切にしているサークルです。

### はむらクラブ

古橋 民枝



はむらクラブ女子六人です。男子チームは以前からあったのですが、女子もチームをつくりたいという思いがあり、今年結成しました。毎週木曜日の夜に練習しています。地域では、市民大会、シニアリーグなど市の後方支援を踏まえ気持ち良い汗をかいて、技術向上を求め、白球を追いかけています。皆さんの卓球をみて学び、ご指導頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願ひします。

## NICE(ナイス)

林

皆様、はじめまして。今年度より新規登録したNICE(ナイス)です。よろしくお願ひいたします。

ナイスは立川市、国分寺市に在住の女性四名でそれぞれ仕事をしており、なかなか全員集まって練習できないのが悩みの種ですが、年二回のリーグ戦でひとつひとつ昇格していくことを目標にしています。

戦型も異質攻撃、カットマン等それぞれ違うので、お互い良い練習になり楽しいです。卓球を楽しみながらナイスなボールが一本でも多く試合で出せるよう皆で頑張っていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。



# 事務局 だより



“明けましておめでと〜”と  
す。本年もよろしくお願ひ申し上げ  
ます。”  
とは言え、今十二月初、歩道の落

東京都町村卓球連盟 事務局  
〒197-0803 あきる野市瀬戸岡一六一の四  
☎〇四二一五五八一八八一五

青木史義

平成29年事業日程	
2/4(土) 第18回東京都町村テニス卓球交流会	(立川市柴崎体育館)
2/11(土) 第55回東京都町村卓球チーム優勝大会	(立川市泉市民体育館)
2/12(日) 第58回東京都町村新人卓球大会	(羽村スポーツセンター)
3/11(土) 第57回東京都町村卓球選手権大会(Jr)	(立川市泉市民体育館)
4/22(土) 第43回東京都町村ベテラン卓球大会	(立川市泉市民体育館)
1/21(土) 下期リーグ戦(女子7部)	(武蔵野市総合体育館)
2/26(日) 下期リーグ戦(男子4, 5, 6部)	(稲城市総合体育館)
1/28(土) 平成29年東京都町村卓球連盟新年会	(立川グランドホテル)
4/11(火) 平成29年度登録集計会(17:30から)	(立川市柴崎体育館・会議室)

ち葉も少なくなり日課の掃除も一段落！テレビをつけると、オリンピックの会場問題、魚市場問題ともう毎日どうなることであろう解決するの心配！日本人のやることだから最後には「仇も味方も皆で成功」と樂觀的に考えている！

早いもので、来年度は創立六十周年を迎える。担当委員会を作り、内容の検討をしてもらっている。会派がないので、理事長を中心に各委員一丸となってガンバッテいる。

決まっているところでは、六十周年記念誌の発行(十年間の)、記念式典の開催(平成三十年一月三十日(土)立川グランドホテル)、事業の冠大会とその内容検討等々「楽しい六十歳」を目指しております。

都庁問題ではないが、高齢者運転の問題がテレビ、新聞で毎日話題になっていきます。ブレーキとアクセルの踏み違い、高速道路の逆走、判断力や視野の低下、ボケ、認知症、新操作機構の不理解等が事故の原因とのこと。

でも高齢者は「自分は大丈夫、運転には自信があります」アッパレです！私も来年二月に免許証の更新で

す。「私は運転には自信があまりありません！」

## 中学生普及委員会

徳永紀夫

前日本卓球協会の木村興治さんが専務理事だったとき、中体連卓球競技部会と日本卓球協会をつなぐ組織ができないものかと話し合いを持ちました。中学連卓球部として次の二点を要望しました。

- ・ 中学委員会を作ってほしい
- ・ 委員会に予算をつけてほしい

これらのことは木村さんの計らいで実現する運びとなりました。正式名称は「中学生普及委員会」、文字通り中学生の卓球の普及に尽力してこうとうという組織です。そのための一つとして普及委員会は中学生の登録に協力する。また協会としては全国大会への補助金を増額していくというものです。

当時協会から全国大会への補助金が二百万円だったのが現在は三百五十万円まで増えています。中学生普及委員会は年二回開かれています。

夏の全国大会と春の全国選抜大会の時です。普及委員会のメンバーは中体連全国部長(普及委員会の委員長)、各ブロック代表九名と他一名です。組織をつなぐパイプができ、お互いの協力関係が円滑にできるようになり

ました。(木村興治さんに感謝)

平成二十八年の日本中体連加盟生徒数は二百十六万人。うち卓球部員は二十五万八千三百七十九人です。昨年より四百人増えています。生徒数が減少している中嬉しいことです。

## 専門部紹介(会計部)

山宮信也

会計部の活動をお知らせします。まずは4月の集計会議から始まり、各市町村連盟から集められたチーム加盟費を参考に、予算書を作成し、これを元に活動が始まります。各種大会の会計、理事・役員手当の支給、決算書・予算書の作成、会計監査の対応等を行い、又、広告料の請求、徴収も行っております。

年度の終わりに、総会で報告し、活動が終了します。部員は3名で、たえず赤字が出ないように目を配っております。明細会計を目指し、頑張っておりますので、よろしくお願ひいたします。

## 広報誌

発行 町村  
市連 卓球  
都連 卓球  
京連 卓球  
東連 卓球  
編集人 子苗勝夫  
野早間紀勇  
清野久多彦  
佐徳阿多彦  
佐溝昌彦